

PCAPS 研究会, QMS-H 研究会, 一般社団法人日本品質管理学会医療の質・安全部会

一般社団法人医療社会システム研究開発普及センター Q-Lab.(仮名) 共催

平成 25 年度 PCAPS 研究会・QMS-H 研究会 成果報告シンポジウム「医療への質マネジメントアプローチ」

医療における質中心経営管理システムと導入推進のモデル開発研究会

(*Quality Management System for Healthcare* 研究会)

成果報告シンポジウム「医療 QMS の基盤構築と実践」

プログラム

日時：2014 年 3 月 2 日(日) 9:30～17:00

会場：東京大学農学部弥生講堂一条ホール

はじめに

医療の質・安全への関心の高まりのなかで、有力な方法の一つと期待されているのが、「質マネジメントアプローチ」です。いかなる分野でも、良質の製品・サービスの提供のためには、当該分野に固有の技術・知識(固有技術)と、それらの技術・知識を組織的に活用するための方法論(マネジメント技術)が必要です。「医療への質マネジメントアプローチ」とは、この考え方にに基づき、医療の質・安全に必要な知識・技術・技能の開発・可視化・構造化・標準化とともに、これらの技術を組織的に活用していくための基礎となる、マネジメントの基本概念の理解、マネジメントシステムの確立・改善、人材育成、組織文化・価値観の確立などに焦点を当てる、組織的な改善・改革の方法論です。

PCAPS 研究会・QMS-H 研究会の両研究会は、大学の工学系研究者と病院及び個々のエキスパート臨床家との共同研究により、「質マネジメントアプローチ」による医療の質・安全の向上をめざしてきました。PCAPS 研究会は、治療方法などの臨床知識・技術の構造的可視化とその応用に焦点を当て、また QMS-H 研究会は、それらの臨床知識・技術を組織的に有効活用するためのマネジメントの方法論の開発と医療機関への導入・推進方法の確立に取り組んでいます。

本年度、PCAPS 研究会は、病院日常臨床への実装、診療ガイドラインの活用と改善、地域医療システムへの展開、がん拠点病院群の質評価など、構造化臨床知識の現実世界への多様な実装を紹介し、PCAPS によって収集される臨床データを用いた臨床と医療経営に関する分析の可能性・有用性を提示します。QMS-H 研究会に関しては、医療質マネジメントシステムの全体モデルと、その重要な構成要素である業務標準、質・安全教育、文書管理、業務システムの見直し等について、実践的研究成果を紹介します。医療の質・安全の向上に取り組んでいらっしゃる多くの方々の参加を歓迎いたします。

2014 年 3 月 2 日

QMS-H 研究会

代表：飯塚悦功

副代表：棟近雅彦・水流聡子

午前の部

司会進行： 下野僚子(東京大学)

I. QMS-H 研究のねらいおよび本日のご案内 (9:30-10:00)

I-1 医療への質マネジメントアプローチ

東京大学・飯塚悦功

I-2 今年度の重点課題

早稲田大学・棟近雅彦

II. 病院における日常業務のプロセス管理標準 (10:00-10:50)

東京大学・加藤省吾

~~~~~  
休憩 10:50-11:00  
~~~~~

III. 体系的な医療の質・安全教育の実施に向けて (11:00-11:50)

III-1 標準カリキュラムと標準テキストの開発

早稲田大学・梶原千里

III-2 質・安全教育の取組み

川口市立医療センター・坂田一美

~~~~~  
昼休み 11:50-12:50  
~~~~~

午後の部

司会進行： 下野僚子(東京大学)

IV. 文書管理の効率的な普及・推進 (12:50-13:50)

青山学院大学・金子雅明, 大阪大学医学部附属病院・田中宏明, 南大阪病院・香西瑞穂

V. 内部監査による業務プロセスの見直し (13:50-14:40)

青山学院大学・金子雅明

~~~~~  
休憩 14:40-14:55  
~~~~~

VI. ポスターセッション (14:55-16:40)

- ・ ポスターセッションのプログラム詳細は、ポスター要旨集をご覧ください。
- ・ 1 テーマ:発表 7 分, 質疑応答 2 分。
- ・ A, B, C の 3 ストリーム. 1 ストリーム 2 セッション行う. セッションの間に 10 分間の休憩あり。
- ・ 全発表後, フリーディスカッション 25 分。

VII. 本年度の活動のまとめと今後の課題 (16:45-17:00)

早稲田大学・棟近雅彦

VI. ポスターセッション (14:55-16:40)

※座長と発表者は開始時間の10分前にはお集まりください。
※ 1演題につき、発表7分、質疑応答2分、交代1分。
最後にフリーディスカッションの時間を25分とります。

ストリームA

セッション1

- 14:55-15:05 •A-1 下野僚子 東京大学
「がん診療体制の改善を促進する組織的活動
ー院内PDCAサイクルの実現ー」
- 15:05-15:15 •A-2 国立病院機構 埼玉病院
「内部監査 ー3年間の取り組みー」
- 15:15-15:25 •A-3 武蔵野赤十字病院
「PFCによる業務の可視化と内部監査による
課題整理」
- 15:25-15:35 •A-4 前橋赤十字病院
「内部監査の改善」

休憩
(15:35-15:45)

セッション2

- 15:45-15:55 •A-5 壺岐翼 早稲田大学
「医療における事故報告書の記載項目に
関する研究」
- 15:55-16:05 •A-6 蓮井涼祐 早稲田大学
「与薬事故におけるプロセス要因の
特定方法の提案」
- 16:05-16:15 •A-7 川口市立医療センター
「POAM研修の導入 第2報」

フリー
ディスカッション
16:15-16:40

ストリームB

- B-1 山内和哉 青山学院大学
「医療における標準的管理指標の導出・評価
に関する研究」
- B-2 国立病院機構 仙台医療センター
「臨床評価指標を用いた質改善活動」
- B-3 大西健太 早稲田大学
「看護師の行動計画を用いた実施業務の
評価方法に関する研究」
- B-4 古賀総合病院
「方針管理への取り組み ー重点課題と体制の
見直し」
- B-5 久喜総合病院
「組織改編を迎えて」
- B-6 大久野病院
「委員会活動の活性化」
- B-7 福田圭佑 早稲田大学
「持参薬事故低減のための対策立案手法
の提案」

ストリームC

- C-1 城東中央病院
「活動の融合と統制」
- C-2 飯塚病院
「現場の医療安全推進者教育ーKYTエキスパート研修ー」
- C-3 若崎優樹 早稲田大学
「IDの照合業務における患者誤認事故の分析・対策立案
方法に関する研究」
- C-4 趙慈顕 早稲田大学
「医療現場における口頭指示が満たすべき要件に
関する研究」
- C-5 齋藤日出雄 社会福祉法人 みまき福祉会
「QMS活動を通じた介護現場における
リスクマネージメント」
- C-6 藤原京 早稲田大学
「医療業務の可視化における業務を分ける基準に
関する研究」
- C-7 島田裕大 早稲田大学
「プロセスフローチャートの記述方法に関する研究」



キャンパス周辺図



本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩15分
 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩12分
 湯島駅, 根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩12分
 東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩10分
 春日駅(地下鉄三田線) 徒歩15分

都バス利用 茶51駒込駅, 王子駅または東43荒川土手
 操車所前行
 東大(赤門前, 正門前, 農学部前バス停)下車
 学バス利用 学07東大構内行 - 東大(龍岡門, 病院前,
 構内バス停)下車

■参加費・参加申し込み:

参加費は無料です。ただし、資料準備のため、必ず事前に参加申し込みをしてください。参加申し込みなく当日参加された場合、資料が準備できない場合がありますので、ご了承ください。

必要事項(ご氏名, ご所属, E-mailアドレス, TEL, FAX, 参加予定)をご記入の上, 下記 E-mailまたは FAXでお申し込みください。この用紙を申込書として, FAXにて送付いただきましても結構です(必要事項を必ずご記入ください)。

シンポジウム事務局 E-mail: pcaps-qms@tqm.t.u-tokyo.ac.jp TEL:03-5841-7299 FAX:03-5841-7276
 PCAPS研究の詳細は, <http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/> をご参照ください。
 QMS-H研究の詳細は, <http://qms-h.org/index.html> をご参照ください。

【参加申込書】

※1 参加予定欄に下記のア), イ), ウ)のいずれかをご記入ください。

参加予定日 [ア).3/1と3/2の2日間とも参加 イ).3/1のみ参加 ウ)3/2のみ参加]

ふりがな 氏名	ご所属/ 職種	E-mailアドレス	TEL/ FAX	参加 予定※1